

健康おおつ21（第3次計画）・第4次大津市食育推進計画 策定専門部会（第3回） の会議結果

1. 開催日時

令和5（2023）年11月1日（水曜日） 13時30分～14時45分

2. 開催場所

大津市旧大津公会堂 会議室 及び WEB 会議システムによるハイブリット会議

3. 会議委員

出席者：尾辻会長、隠岐副会長、風間委員、門田委員、清水委員、藤木委員

欠席者：今井委員、上田委員、谷川委員、山元委員

4. 議題

（1）健康おおつ21（第3次計画）・第4次大津市食育推進計画素案について

5. 会議概要

（1）開会

事務局 委員の出席確認及び資料の確認

（2）あいさつ

大津市保健所 中村所長

（3）議題

ア 健康おおつ21（第3次計画）・第4次大津市食育推進計画素案の作成について

・事務局より説明 **資料1**

・発言内容

隠岐委員	評価指標の一覧が122ページ以降にあります。目標の欄に具体的な数値が書いてある指標と、「増加」「減少」と書かれている指標があります。やはり数値目標にした方がいいのではないかと思います。例えば、自殺者数の指標で、現状値が55人、目標値が「減少」となっていて、それが54人になったとして目標達成として評価していいのか、難しいと思います。わずかな増減で一喜一憂するより、明確な目標を作った方がいいのではないかと思います。目標を設定するのも難しいものもあるのかもしれないと思いますが、できれば数字の方が良いのではないのでしょうか。12年という長いスパンの計画になりますから、数字があった方が頑張ろうと思えるのではないかなと思います。
------	--

事務局	国や県の数字も確認しながら、できる限り数値を設定したいと思います。
-----	-----------------------------------

門田委員	3点ありまして、数値目標につきまして先ほどお話にありましたのと同様、
------	------------------------------------

喫煙率については数値が入ると、取り組みやすいのではないかと感じます。他のものについては、設定が難しいところもあるのかなと思います。

2点目は、「分野①栄養・食生活」のところで、37ページに「取組の方向性」に、栄養バランス、適正体重、朝食の欠食について記載があり、食生活そのものの改善のために食育が大切だと伝わってくるのですが、ここに「減塩」を追加すると方向性がはっきりするのではないかと思います。

「主な取組」には「薄味」と記載がありますので、取り組んでいただけるものと思っております。

3点目は、「分野⑥歯・口腔の健康」に関して、国の健康日本21（第三次）で、むし歯対策については、むし歯の割合が減っているということであまり触れられていないのですが、大津市では歯についても詳細にこちらに盛り込むと伺っております。52ページで、全体としてむし歯の割合が減っているが、多数むし歯のある子どもが一定数いるとの記載があり、歯の健康格差が生じているということだと思います。国からは、健康日本21とは別にフッ化物洗口に関する通達が出されており、フッ化物洗口は幼児期から14歳までは有効性が認められ、またハイリスク者への個人的アプローチは難しく、教育機関を通じた集団的アプローチをしないと歯の健康格差の是正は難しいという内容です。前回委員会で、歯科の先生がフッ化物洗口についての取組を盛り込むことをご提案下さっていただいていたのですが、55ページに「幼児期から学童期の」と明記されると、より教育機関での推進や保護者の理解等も進み、協力も得やすくなるのではないかと感じました。

事務局

今のご発言に追加をさせていただきたいのですが、国全体として歯科口腔の施策を進めるにあたり、歯科口腔の法律の下に基本的事項が作られ、そこに様々な目標値を定め、国全体の歯科口腔保健を進めていくという体制になっています。基本的事項の第一次が今年度で終わることになっており、先日第二次が告示されました。それに伴って先月、国の歯科口腔に関する基本的事項にあたるものを市町村でも作成するように通知が来しました。それを受けて健康推進課と協議をしていたのですが、現在策定中のこの計画の52ページ以降について、挙げている指標も基本的事項と合致している状況であり、こちらを大津市における基本的事項として整理しようと考えているところです。足りない内容があれば追加し、分野⑥を大津市における基本的事項として位置付けさせていただきたいと思います。

藤木委員

健康推進員になって20年近く経ちますが、会長になってこのように計画づくりに携わらせていただいております。健康推進員の意義を再認識しております。しかし、高齢化が進み、推進員のなり手が少なく、現在298名と減少している状況です。地域を回ってわかることなのですが、運転しなくなったら出にくいのです。研修会のために電車やバスを乗り継いで明日都に出てくるのが難しいから、地域だけで活動させてほしいという学区が出てきています。健康推進連絡協議会をやめる学区も出てきており、この2年で3学区がやめられました。現在は地域で名前を変えて、健康推進員的な仕事を継続しておら

藤木委員	<p>れます。他にも、サークル活動として健康を謳う会が出来上がっており、地域の市民のために活動しておられるところがあります。協議会から離れ、研修という知識のアップデートを経ずに活動を進められることになるので、今後解決が必要な問題だと思っています。</p> <p>計画の全体を通して、身体の病気以上に大事なのは心の健康だと思います。老いは誰にでも訪れ、体は言うことを聞かなくなりますが、心が健康であれば張り合いをもって暮らせるのではないかと思います。この計画にもうつに関する記載等ありましたが、いかに心の健康を維持できるか考えることが大事だと思います。施策としての取組とともに、老いて体がダメージを受けても、音楽や美術鑑賞で心の健康を保つといったようなことについても考えていただければと思います。また、パラリンピックで障がいのある方が活躍しておられるのを見て感動したのですが、心を強く持って、乗り越えていく手立てはあるのだと思いました。誰もが老い、がんなどの病気とも隣り合わせで生きているわけですから、心が強くなって乗り越えていける方法が見つければいいなと思います。</p> <p>また、とても良い計画を作っていただいたと思いますが、12年という長い計画ですから、今のベストがやがて古びてくるということもあるのかなと思いました。</p>
清水委員	<p>この計画ではたくさんの数値目標を挙げていただいております。滋賀県栄養士会では、数値目標が達成できるように協力させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします</p>
風間委員	<p>県では健康な人づくりと健康なまちづくりという視点から進めているところです。国の掲げる「誰もが」を実現するためには、健康格差ということがキーワードになってきますが、それを受けて、県では環境づくりやまちづくりの分野に力を注いで計画を作成しているところです。社会状況の変化にもなって、孤独・孤立の問題や経済格差といった社会環境が健康に大きな影響がある中で、県としては社会とのつながりを重視して取り組んでおり、人とのつながりやいきがいにつながるようなものを、健康の視点から考えているところです。また、自然に健康になれる環境づくりという分野では、健康づくりのハードルを下げるために、誰もが自然に健康にアクセスできるようなまちづくりについて、健康な人づくりを健康なまちづくりで支えていくという観点で進めています。また、心の健康づくりの部分が取組としても難しいところだと感じています。</p>
尾辻会長	<p>具体的にどのように進めていくのかがやはり大変だと思います。診察をしていますと、連携の基盤がずいぶん弱くなってきていると感じています。医師会でも、いろんな業務をやっていて皆なかなか余裕がありません。地域と言われても、在宅診療の際にショッキングな状態になっているご家庭もあり、なぜここまで気が付かなかったのだろうと思うこともあります。いかに無理なく、参加していただいて連携していくかということがひとつの課題になるかと思っています。</p>

藤木委員 滋賀県は、健康寿命が高いとありました。大津市民でよかったな、好きだなという気持ちから出発して、大津を大事にしたいという気持ちが、計画の参加につながっていくように思います。一人一人が市民であることに誇りをもって、大津を大事に思っていれば、市の計画に対しても皆頑張れるかもしれないと思います。

尾辻会長 他にご意見がないようですので、以上をもって、本日予定されている議事については全て終了といたします。
委員の皆様には、議事進行にご協力を頂き、ありがとうございました。
本日、みなさまからいただきましたご意見を基に、事務局において 計画案、最終案をまとめていただき、大きな変更がない限りは、委員の皆様には、計画案、最終案を文書でご報告していただきますので、よろしく願いいたします。
委員の皆様のご協力をおもひまして、このような形で計画素案をまとめさせていただくこととなりました。皆さまには、多くのご意見、ご助言をいただきまして、ありがとうございました。
ではこれで、本日の議事を閉じさせていただきます。

イ 閉会

事務局 委員の皆様にはご審議いただき誠にありがとうございました。以上をおもひまして、健康おおつ 21（第3次計画）・第4次大津市食育推進計画策定専門部会第3回会議を閉会させていただきます。
本日はありがとうございました。